

《小橋拓弥》



2012 年洗足学園音楽大学ジャズコースに入学，2015 年小曾根真氏が率いる JFC All Star Big Band に参加，東京ジャズフェスティバルに出演する。2016 年夏にバークリー音楽大学院に留学。自己の楽曲がアメリカの Unsigned Only Music Competition にてセミファイナルリストに選ばれる。

NY でレコーディングしたアルバム「Imaginary Story」レーベル Apollo Sounds にてリリース。

自身のバンド「Don kururi」21 年、東京、日本橋兜町の東京証券取引所主催イベント「Jazz EMP(Emerging Musicians Program)」に出演。サッポロシティジャズ PARK JAZZ LIVE CONTEST 2022 最優秀賞を受賞。

《佐藤敬幸》



1993年12月生まれ。

北海道札幌市出身。

小学5年生の時にアルトサックスを買ってもらい、音楽に興味を持つ。

またそれと同時に、小中学生を対象としたビッグバンド、SJFジュニアジャズオーケストラに入り音楽に親しむ。

中学3年生の時、バークリー音楽大学の教授達によるクリニックキャンプ、北海道グループキャンプに参加し、バークリー音楽大学で開催される5週間の特別セミナーに、フルスカラシップの奨学生として参加することができる特別推薦状を授与される。

《高橋佑成》



1994年東京生まれ。

明治学院大学文学部芸術学科卒業。

13歳の頃からジャズに興味を持ち独学でジャズを始める。その後中学生対象の世田谷ドリームジャズバンドに加入。日野皓正氏を始めとしたジャズミュージシャンに触れ音楽を学ぶ。

現在は世田谷トリオ（岩見継吾(b)、吉良創太(ds)）、m° fe（松丸契(as)、落合康介(b)）、日野皓正 Quintet、自身が主宰する音楽ユニット”秘密基地“、STUTS や七尾旅人のバンドに参加などジャズに限らず多岐に渡って活動している。

《清水昭好》



1985年2月6日生まれ福井県出身。

幼少の頃から作曲に興味を持ち、14歳の時エレキベースを始める。大学進学時にジャズ研究会に入ったことをきっかけにウッドベースに転向し、独学で習得。

2006年から都内でプロ活動を開始し、ベテランから若手まで多数のミュージシャンと共演。日本を代表するギタリスト宮之上貴昭のバンドは約9年在籍した。

Kit Downes、Scott Reeves、Brenna Whitaker、Steve pruit 等、来日ミュージシャンのサポートも多い

2010年、2012年、宮之上貴昭 Quartet でカリフォルニアの San Jose Jazz Festival に出演。2010年シカゴのブルースギタリスト、カルロスジョンソンのジャパンツアーに参加。2015年からオリジナルを中心とするリーダーバンドを開始、2020年6月オーストラリアの鬼才トロンボニスト James Macaulay を擁した自己の Quintet でリーダーアルバムデビュー作「Satya」をリリース。

2022年、Satya に収録されているオリジナル「Room106」がアメリカの国際的な作曲コンテスト「John Lennon Songwriting Contest」の Session1 Jazz 部門でファイナリスト賞を受賞。

現在は自身の Quintet 以外に市原ひかり Quartet, 坪口昌恭 trio, 山田貴子 piano trio, カムロ耕平 guitar trio, 片山士駿 Quartet, OSF Trio(大村亘 ds, 成田祐一 p)を中心に活動中。

《福原雄太》



東京出身のドラマー、作曲家。

トラディショナルなジャズからエレクトロポップまで、様々なプロジェクトで演奏する。2017年、自身の音楽性を追求するためボストンへ移る。バークリー音楽大学ではジャズコンポジション科を専攻しながら、ライブパフォーマンスやレコーディング活動を行なう。学内で Terence Blanchard XTET に選ばれ、ジャズビブラフォニストの Warren Wolf と共演。

またフラメンコ界の著名アーティスト Sonia Olla & Ismael Fernández、台湾出身のポップスター Nana Ouyang と共演するなど、ジャズに限らず幅広く活動する。Darren Barrett、Dave Santoro、Ralph Peterson (敬称略) と素晴らしい教授陣に師事。

現在は日本に帰国して、都内を中心に活動中。